

報告月日 令和7年 2月 6日
報告者 兼子 美穂

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議 事 録

開催月日	令和7年 2月 6日 (木) 18時30分～19時00分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 中川 大輔 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院 副院長兼総合支援センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 統括診療部長) 山我 健 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 岡嶋 真紀 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 佐々木 泉顕 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所) 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 1) 一日平均患者数の推移 入院1日平均患者推移平均は、214.1日。下半期は感染症の患者増加、スムーズな受け入れに尽力し患者数増加。在院日数は大きな変わりなし。 外来1日平均は、12月市中の感染患者増加で受診患者数増加。 質問：1月はどうでしたか？ 回答：1月単月入院患者数は246.9人、平均在院日数は13.3日でやや長くなった。 2) 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 紹介患者数3565件で例年並み。紹介率65.2%、12月は54.8%と低かった。 地域別は市外や北区方面の紹介増加。地域の急性期病院の稼働状況が影響したと考える。逆紹介患者数は5253件、逆紹介率は96.0%で増加傾向。今後も連携医療機関への逆紹介に取り組んで行く。紹介率・逆紹介率は維持した。 3) 月別手術・内視鏡・分娩件数 手術件数は12月まで全科合計1855件で昨年を超えるペース。整形外科が特に増加。内視鏡件数は、12月までで5309件。上半期患者減少で件数伸びなかったが、下半期は回復。循環器内科手術件数は順調に治療件数を重ねている。分娩件数は減少。		

質問：分娩件数減少の要因は？

回答：全国的に年々分娩件数減傾向。市内地域医療支援病院の中で3病院が分娩を扱っている。JCHOは地域医療貢献の使命があるので分娩件数も回復できるよう取り組んでいく。

4) 共同利用

MRIの利用件数が昨年度の倍程度で増加している。

2. 手術支援ロボット運用報告

今年1月で手術件数100件を達成。(総数105件。泌尿器科45件、外科60件)2月肝切除術を実施。術後経過良好。3月には腓体部切除術を予定。

質問：手術に関して近隣医療機関との連携はどうか？

回答：お互いに強みを生かしながら連携できていると考えている。

3. その他

1) 地域に向けた講演会・行事予定報告

2024年12月10日中の島まちづくりセンターにおいて地域講演会を開催。

2月14日グリーンモールコンサート開催。

2) MRI更新工事に伴う撮像停止期間について

2025年3月26日(水)～5月12日(月)の期間で工事予定。工事中のMRI検査については、現在近隣医療機関と調整中。

3) 手術室情報管理システム・麻酔科医師増員について

麻酔科記録・術中画像・手術室画像など管理するためシステムを導入する。今年度4月中には整う予定。

2025年4月より麻酔科医師1名増員。システム導入と医師増員で働き方改革にもつながると期待。

4) 機能評価審査予定

適性で安全な医療提供のため2025年6月機能評価を受審。1月30日プレ審査を終え、本審査に向けて取り組んで行く。

5) 自動精算機導入について

以前より待ち時間が長いと患者からの意見が続いていた。今年5月に自動精算機を2台導入。待ち時間短縮に向けて運用。カード支払いも対応可能。

6) その他

質問：電子カルテ情報共有サービスがあるが、病院では何か進んでいるか

回答：診療報酬改定でも医療DXが言われており準備は進めている。今後も取り組みを継続していく。

次回開催 令和7年5月8日(木) 18:30 予定